

## シラバス参照

科目名	経営分析論
配当年次	2年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	藤本 孝一郎(フジモト コウイチロウ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 木曜日 2時限 13-401

※	
授業の目的・目標	<p>(1)授業の概要 企業活動を分析・評価する経営・会計の手法や就職活動に役立つ決算書を読む力の基本を学びます。履修者の学習水準を確認し進捗(内容・検定試験準備・教材を含む)を考えます。適宜、工業簿記との関連解説をするともにコンピュータを利用します。(計算機を使う場合もあります。) ★原則として毎回課題を提示します。＊計算科目です。毎回の復習が前提です、しない方は受講しないでください。 【対象者】会計学基礎や簿記原理を学習している方を対象とします。 ＊リアルマーケティング検定3級を学習する方 ＊ビジネス会計検定3級を学習する方。 ＊就職試験のビジネス知識対策やメーカー・銀行・証券・金融関係での就職を目指す方。 ＊日商簿記検定2級の工業簿記を学習する方。 【会計学分野での入門レベル】 ・対面授業の場合 大学の普通教室かPC設置教室で授業を行います。ただし、自宅での準備学習等のために、自宅で自由に使うことの出来るPC等(iPad等のタブレットではキーボード利用可能なタイプが望ましい。)を持っていることを推奨します。 ・Web授業ツールとしてTeamsの機能も使います。</p> <p>(2)授業の目的 就職活動に役立つ決算書を読む力を身に着けます。経営分析指標および分析公式やビジネス用語・知識を学びます。ビジネス会計検定の基礎論点を学びます。</p> <p>(3)学習成果 (ビジネス総合学科DP) ②考える力(疑問を持って、自分で考える力) ④職業人として活躍できる幅広い教養 ⑤ビジネススキル(情報、メディア、会計、販売、事務処理など)</p> <p>(4)授業の到達目標(記号は、当該授業の主たる目標とDPとの関連性を示す) 決算書を中心に経営分析指標およびビジネス用語の理解、例題から指標を算出できる水準を目標とします。 (短期大学DP) ②社会人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、表現力や道徳的能力(○) ④職業人として活躍できる幅広い教養(○) ⑤ビジネススキル(情報、メディア、会計、販売、事務処理など(◎))</p>
準備学習等の指示	<p>＊事前にWebclassに学習範囲および課題を提示します。一般新聞等の経済欄を読んで関心のある記事を覚えていてください。(1時間程度)。 ＊原則として、授業終了時に次回課題を出します。授業終了後に学習を行って下さい(2時間30分程度)。 制作課題はWebclassに提出していただきます。基本的に自宅ですべての作業が出来るPC等を用いて行って下さい。</p>
講義スケジュール	<p>1 経営分析の概念を知る: 授業概要、会計処理と財務諸表 2 貸借対照表と損益計算書を理解する: 基本用語と財務諸表、諸利益と原価 3 成長性の分析を知る1: 成長要因と経営、諸分析指標と変化率 4 同2: 課題演習 5 収益性の分析を理解する1: 利益諸比率 6 同2: 課題演習 7 貸借対照表の分析を理解する1: 経営活動と安全性 8 同2: 課題演習 9 各種回転率と貸借対照表1: 資本と利益 5 同2: 課題演習 10 経営活動とキャッシュフローを理解する: 資金と経営活動を知る 11 損益分岐点分を理解する: 析: 短期利益計画と資金、固定費、貢献利益と変動費率 12 生産性分析を理解する: 付加価値と損益計算書 13 経営数値の比較分析演習: 計算問題のまとめ</p>
教科書	開講時に指示します。
参考文献	開講時に指示します。
授業の方法	講義70%、課題20%、小テスト他10%。利用予定ハード:スマートフォン、タブレット、パソコン。利用予定ソフト: Webclass、Microsoft Teams、Zoom等

成績評価方法	(1)評価方法 筆記試験および課題提出 (2)割合 試験成績70%、授業への積極的取り組み・課題提出:30% (3)評価基準 全課題の提出および授業への積極的取り組みを最低基準とし、試験の設問への理解度で評価します。
オフィスアワー	開講時に指示します。
居室	13号館 6F 13-620
ホームページ	開講時に指示します。
その他特記事項	【注意】*受講には会計学基礎・簿記原理・簿記演習のどれかを学習している方が望ましい。*基礎知識や日本語能力の不足している方には、毎回宿題を指示します。未提出の場合は成績に反映されます。 *計算科目です、苦手な方は必ず本科目担当教員と相談の上履修を決定すること。 *必ず「春学期第1回目の藤本担当の他授業科目」でガイダンスをしますので、出席し、相談の上履修してください。 *特に「日本語能力が不足している方」は、必ず、相談の上、履修決定してください。 *必ず計算機等を持参してください。 ☆ビジネス会計検定3級の学習には、会計学基礎、簿記原理、経営分析論の全てか一部の履修が必要です。必ず相談の上履修してください。 ☆日商簿記2級検定の学習には、経営分析論、経営財務論の全てか一部の履修に加え他講座の履修が必要です。必ず相談の上履修してください。
添付ファイル	